



6月定例議会における質問やこの間の活動についてご報告します。

## 子どもの人権を守るために

子どもへのいじめや教師による体罰など、この間、重大な事案が明らかになっています。こうした中、いじめや体罰等の相談窓口の「子ども支援センター」、解決が難しい案件を調査・審議する「子ども支援委員会」のあり方も問われています。

相談や訴えが寄せられてから調査や審議に長時間経過したり、その内容についても改善や見直しが求められています。

県子ども若者局長は、「支援センター」相談体制、また、「支援委員会」の特別委員の活用など、調査・審議を行う方策についても検討したいと答弁しました。

## 学校給食費の無償化を

少子化対策として、また、憲法にてらして知事に実施を迫りました。

(詳しくは裏面をご覧ください)

## 凍霜害の対策など、 農家への支援策を

4月の低温、遅霜でリンゴや梨、桃などに大きな被害が発生。農家は大きな打撃を受けており、支援を求めました。



農政部長は、県は相談窓口を設置し、技術指導を行っている。資金融資や被害果実の有利販売対策を検討すると答弁しました。なお、今年の春に使用した燃焼資材は、県の緊急対策事業での対応を検討するとしてしました。防霜ファンの設置については、現行の国庫補助事業の活用を述べるにとどまり、県独自の支援策には踏み込みませんでした。収入保険について、保険料の助成など県の支援策を求めました。

凍霜害被害の調査。花や実がほとんどやられた畑も。この4年間で3回も被害にあった地域もあり、本格的な支援が必要です。  
(長野市豊野 5月14日)



リンゴ農家のみなさんから支援策など行政への要望をお聞きしました。  
(飯綱町 5月18日)



本会議の一般質問は大勢のみなさんに傍聴していただきました(6月28日)

## マイナンバーカード について

マイナンバーカードは次々と重大なトラブルが発生しています。また、マイナ保険証のない人は、申請すれば資格確認書を発行するとしていますが、申請が困難な障がい者や高齢者などへの対策が全く想定されていません。今の健康保険証を残すことなど、対応を求めました。

阿部知事は、データの補正や国における防止対策等が講じられており、国の総点検本部の点検に、市町村等と連携して対応すると述べるにとどまりました。



鳥居川の河岸浸食の調査。宅地への影響が心配されます(飯綱町 5月29日)

総務企画警察委員会の副委員長として1年間活動します。県の基本政策や予算全体、公共交通や警察行政などを審議します。



## 県民要求実現へ全力でがんばります

日本共産党県議団は6人になり、交渉会派で代表質問もできるようになりました。



- 各所属委員会が左記のように決まりました(写真順)
- 山口典久議員 総務企画警察副委員長
  - 毛利栄子議員 産業観光企業委員
  - 藤岡義英議員 危機管理建設委員
  - 和田明子議員 決算特別委員
  - 農政林務委員
  - 少子化・人口減少対策調査特別委員
  - 高村京子議員 県民文化健康福祉委員
  - 広報委員
  - 両角友成議員 環境文教委員長
  - 議会運営委員

